

レファレンス

コーナー

パレスチナの統計

資料

高橋理枝

メディアの扱いは少ないが、パレスチナとイスラエル間では現在も連日のようにイスラエル軍の攻撃およびパレスチナの自爆テロによる死傷者が発生している。国を失い離散したパレスチナ人の現在に至る状況をデータで知ることが重要である。今回は、パレスチナの代表的な統計資料と、パレスチナ中央統計局 (PCBS) の最新の統計について紹介する。なお紹介する資料は英語とアラビア語併記である。当館所蔵資料には () 内に請求記号と所蔵年号を記載した。

パレスチナの最初の近代的な人口統計調査は、一九二二年にイギリス委任統治政府によって実施された人口センサスである (Palestine Census Office, *Census of Palestine, 1922*)。その後イスラエル建国 (一九四八年) とともに西岸はヨルダンの、ガザはエジプトの支配下におかれた。この時期の西岸に関する統計データは、ヨルダン政府統計局の統計資料に掲載されている。例えば、Dept. of Statistics, *Statistical Yearbook (JORDAN/0A1/, 1958-1997)* の地域別人口テーブルからは、西岸の都市

の人口を知ることができる。またガザについては、エジプトの Ministry of Defense, Governor General of Gaza, *Official Statistical Bulletin* を挙げることもできる。

第三次中東戦争でイスラエルが西岸とガザを占領 (一九六七年) した後は、イスラエル中央統計局が The Administered Territories または Judea, Samaria and Gaza Area という項目で、西岸とガザを扱っている。Central Bureau of Statistics, *Statistical Abstract of Israel (ISRAEL/0A1/, 1963-2002)* ではイスラエル国内とは分けてこれらの地域の統計指標が掲載されている。また、*Quarterly Statistics of the Administered Territories (ISRAEL/0Q1, 1973-1980)* のように西岸とガザのみを扱った資料も発行された。

この他に、PLO 中央統計局や国際機関の資料からもデータを得ることができる。ただし PLO の資料はイスラエル等の統計からの引用であることも多い。国連パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA) はパレスチナ難民に関するデータを出しており、最新のデータについてはウェブサイト (<http://www.un.org/unrwa/pr/index.html>) から入手が可能である。また一九八〇年代以降は西アジア経済社会委員会 (ESCWA) の統計資料にパレスチナの項が設置されている。World Bank, *World Development Indicators (Cdonm/C32, 1997-2002)* では West Bank

and Gaza として一九九四年以降のデータが掲載されている。

PCBS は、社会経済発展計画の基礎となるデータの収集と提供を指して、自治政府設立 (一九九四年) に先立ち一九九三年に設立された。PCBS による最初の人口調査は、一九九五年に行われた。

PCBS では、人口、教育、犯罪、保健、ジェンダー、労働や家計等に関する社会統計、国民経済計算や産業、貿易、金融などの経済統計、各地域の人口、産業、環境や資源に関する地域統計などを扱っている。分野によっては新たに調査が行われていないため、かなり古いデータに基づく資料もあるが、消費者物価指数は毎月、労働力調査は四半期毎に継続的に出されている。

総合統計としては、二〇〇〇年から毎年出されている *Statistical Abstract of Palestine* があげられる。自治区内のパレスチナ人については人口、社会、経済各分野の指標が掲載されており、またイスラエル内のパレスチナ人、それ以外の世界各国に離散したパレスチナ人についても人口や教育に関する指標を掲載している。ただし自治区以外については、UNRWA をはじめとする他機関のデータを利用しているので、概念の定義等が一定ではなく、注意が必要である。

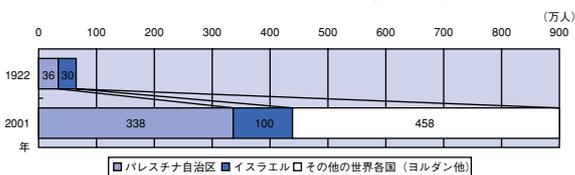
Jerusalem Statistical Yearbook は、イスラエルとの間で帰属をめぐって対立している東エルサレムについて、

人口統計、教育等の社会統計、消費者物価や産業に関する統計等、各分野の指標を提供している。創刊は一九九九年で、最新号 (四号) では二〇〇一年のデータが掲載されている。

当館では PCBS の資料は、*Industrial Survey (PALESSA4, 1997-1998)* や *Labour Force Survey (PALES/11/, 1998-1999)*、*Women and men in Palestine Trends & Statistics 1998 (PALES/14)* をはじめ、現在のところ一九九七〜一九九九年出版のものを中心に所蔵している。最新のデータについては大半が、PCBS のウェブサイト (<http://www.pcbs.org>) から無料でダウンロードすることも可能である。また出版物リストは同ウェブサイトおよび冊子体の出版物にも掲載されており、それらを Eメールで発注することもできる。

(たかはし りえ／図書館図書整備課)

パレスチナ人の人口分布と推移



※1922年のデータは、*Census of Palestine*, 1922のデータをもとに筆者作成。2001年のデータは *Statistical Abstract of Palestine*, No.3, 2002より。